

# 令和7年度クリエイティブ・アドベンチャー学習指導計画

## 第4学年 総合的な学習の時間「オリジナルの楽器をつくろう！」

【学校名】茨城県石岡市立杉並小学校  
【総時数】24時間程度

【実施時期】令和7年 10月～12月

### 1 単元の概要（ねらいと特徴）

身近な材料を用いてオリジナルの楽器を制作し、音のしくみ（振動）や音色・音量の違いに着目しながら、「試作→試奏→改良」を繰り返してよりよい音を探究する単元である。最終的には、制作した楽器の特徴や工夫を言語化して発表し、演奏家の演奏に触れて表現としての音を捉え直す。

外部連携として、一般社団法人たよなん、公益財団法人ソニー教育財団、公益財団法人ソニー音楽財団の協力を得て、導入のオリエンテーション（来校）と、オンライン相談会（12月初旬）、保護者や演奏家に向けた最終報告会（12月中旬）を設定した。

### 2 単元の目標

#### 【知識・技能】

音が出る仕組み（振動）や材料・構造による音の違いに気づき、目的に応じて材料や構造を調整できる。

#### 【思考・判断・表現】

「ねらいの音」を基に課題を設定し、試作・検証・改良を繰り返してよりよい音を追究し、工夫を説明できる。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

失敗や行き詰まりを学びの材料として捉え、仲間や外部助言を生かしながら粘り強く改善に取り組もうとしている。

### 3 連携・協力（団体）


一般社団法人たよなん（導入のオリエンテーション／最終報告会での助言）

公益財団法人ソニー教育財団（導入のオリエンテーション／最終報告会の調整・協力）

公益財団法人ソニー音楽財団（最終報告会での協力）

演奏家（ピアノ・ヴァイオリン：最終報告会での演奏・楽器紹介）

### 4 単元計画（24時間 程度）

時期・時数	学習活動	教師の支援・指導	評価・留意事項	外部連携
導入・課題設定 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音とは何か」「身の回りの音」について考える</li> <li>音が変わる条件（材料、長さ、張り、穴など）を試し、問いをもつ</li> <li>単元のゴール（楽器づくりと発表）を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な音の例を提示し、音への着目を具体化する</li> <li>安全面（工具・材料）と学習の進め方（試作→試奏→記録→改良）を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問いが具体的にになっているか（どんな音を目指すか）確認する。</li> <li>安全指導（切る・穴あけ・固定）を徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部：一般社団法人たよなん／公益財団法人ソニー教育財団</li> </ul> 

<p>制作・検証・改良 (14時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料を集め、試作する</li> <li>・音を鳴らして確かめ、原因を考えて改良する。</li> <li>・友達の工夫を参考にし、再改良する。</li> <li>・ワークシートに「ねらいの音、工夫、課題、次の改善」を記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音が鳴りにくい原因を言語化させ、改善の仮説を促す。</li> <li>・加工・固定の技能支援（補強、張り、穴の位置、共鳴など）</li> <li>・記録の型を提示し、改善の根拠が残るよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動のサイクルが回っているか（試行錯誤が一度で止まっていないか）確認する。</li> <li>・壊れにくさと音の出やすさの両立を意識できているか確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT：記録（写真や動画）→振り返りに活用</li> <li>・必要に応じて小集団で試奏タイムを確保する。</li> </ul> 
<p>オンライン相談会 (2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作途中の楽器を持ち寄り、助言を受ける。</li> <li>・助言を基に改良点を整理し、やることを決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談会に向けて「現状・困り・試したこと」を整理する。</li> <li>・助言をワークシートに落とし込み、次の改善につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言を受けて改善案が具体化しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部：一般社団法人たよなん（オンライン）</li> </ul> 
<p>まとめ・発表準備～最終報告会 (4時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終改良、発表原稿づくり（材料→仕組み→工夫→課題→次の改善）を行う。</li> <li>・リハーサル（短時間で要点を伝える）を行う。</li> <li>・最終報告会で発表し、質疑に応える。</li> <li>・演奏家の演奏を聴き、表現の工夫に気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の型（説明の順序）を共有し、短い練習機会を設定する。</li> <li>・質疑の観点（音色、音量、構造、改良点等）を示す。</li> <li>・演奏家の演奏を「表現としての音」として捉え直し振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の工夫を根拠とともに説明できたかどうか確認する。</li> <li>・他者の工夫や演奏からの学びを振り返ることができた確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部：一般社団法人たよなん／公益財団法人ソニー教育財団／公益財団法人ソニー音楽財団／演奏家（来校）</li> </ul> 